

様式1		実態把握シート	
課題となる項目にチェックしてください。			
観		点	
<b>&lt;知的発達&lt;の状況&gt;</b>			
知的発達の遅れは認められず、全体的には極端に学力が低いことはない			
<b>&lt;教科指導における気付き&gt;</b>			
本人の興味ある教科には熱心に参加するが、そうでない教科では退屈そうにみえる			
本人の興味ある特定分野の知識は大人顔負けのものがある			
自分の考えや気持ちを、発表や作文で表現することが苦手である			
こだわると本人が納得するまで時間をかけて作業等をすることがある			
教師の話や指示を聞いていないようにみえる			
学習のルールやその場面だけの約束ごとを理解できない			
一つのことに興味があると、他の事が目に入らないようにみえる			
場面や状況に関係ない発言をする			
質問の意図とずれている発表（発言）がある			
不注意な間違いをする			
必要な物をよくなくす			
<b>&lt;行動上の気付き&gt;</b>			
学級の児童生徒全体への一斉の指示だけでは行動に移せないことがある			
離席がある、椅子をガタガタさせる等落ち着きがないようにみえる			
順番を待つのが難しい			
授業中に友達の邪魔をすることがある			
他の児童生徒の発言や教師の話を遮るような発言がある			
体育や図画工作・美術等に関する技能が苦手である			
ルールのある競技やゲームは苦手のようにみえる			
集団活動やグループでの学習を逸脱することがある			
本人のこだわりのために、他の児童生徒の言動を許せないことがある			
係活動や当番活動は教師や友達に促されてから行うことが多い			
自分の持ち物等の整理整頓が難しく、机の周辺が散らかっている			
準備や後片付けに時間がかかり手際が悪い			
時間内で行動したり時間配分が適切にできない			
掃除の仕方、衣服の選択や着脱などの基本的な日常生活の技能を習得していない			
<b>&lt;コミュニケーションや言葉遣いにおける気付き&gt;</b>			
会話が一方通行であったり、応答にならないことが多い (自分から質問をしても、相手の回答を待たずに次の話題に行くことがある)			
丁寧すぎる言葉遣い(場に合わない、友達どうしでも丁寧すぎる話し方)をする			
周囲に理解できないような言葉の使い方をする			
話し方に抑揚がなく、感情が伝わらないような話し方をする			
場面や相手の感情、状況を理解しないで話すことがある			
共感する動作(「うなづく」「身振り」「微笑む」等のジェスチャー)が少ない			
人に含みのある言葉や嫌味を言われても、気付かないことがある			
場や状況に関係なく、周囲の人が困惑するようなことを言うことがある			
誰かに何かを伝える目的がなくても、場面に関係なく声を出すことや独り言が多い			
<b>&lt;対人関係における気付き&gt;</b>			
友達より教師(大人)と関係をとることを好む			
友達との関係の作り方が下手である			
一人で遊ぶことや自分の興味で行動することがあるため、休み時間一緒に遊ぶ友達がいないようにみえる			
口ゲンカ等、友達とのトラブルが多い			
邪魔をする、相手をけなす等、友達から嫌われてしまうようなことをする			
自分の知識をひけらかすような言動がある			
自分が非難されると過剰に反応する			
いじめを受けやすい			

※様式2、様式2-1~3は「本道の小・中学校等におけるLD・ADHD・高機能自閉症等を含む障害のある幼児児童生徒の教育支援体制のガイドブック」(北海道教育委員会)を参考に作成